



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和4年度域内学力向上推進研究協議会

- 日 時：令和4年12月1日（木） 13:15～16:15
- 会 場：万葉ふれあいセンター（南相馬市）
- 参加者：相双域内の小・中、義務教育学校の教員、市町村教育委員会指導主事 合計66名
- 内 容：①「ふくしま『未来の教室』授業充実事業」による「福島県版 ICT 活用ハンドブック 2022」紹介
 ②「AI 時代を生き抜く読解力向上事業」による実践発表
 ③「ふくしま学力調査」の結果から、学力が伸びた児童生徒の割合が高い学校の実践発表
 ④協議「『ふくしま学力調査』の結果から見える各校の強みとその背景及び課題と解決策について」
 ⑤講義「『ふくしま学力調査』の結果を踏まえた授業改善の方策」

【研修のまとめ】～担当指導主事より～

【ハンドブック紹介のポイント】

- 県内で昨年度から実践されている「ふくしま『未来の教室』授業充実事業」の取組から、ICT 機器を活用した様々な授業実践の事例をもとに、各学校の実態に合わせながら取り入れ、自校化を図る。

【実践発表のポイント】

- 桜丘小学校：リーディングスキルテストを活用することにより、授業改善を「学習者の視点」と「授業者の視点」から進めることができる。そのため、読解の基礎体力づくりを大事にして取り組む。
- 原町第一小学校：全国学力・学習状況調査やふくしま学力調査の結果を分析し、授業において児童と学習課題をつくる等の取組や児童が自分や友達のよさに気付ける学級経営をする。
- 学び舎 ゆめの森：学校の教育活動全体を通じて、探究的な活動の充実を図り、児童生徒の自己決定を尊重することや、その道のプロと触れ合い、肌で感じ取る学びを実践する。

【講義のポイント】

- ふくしま学力調査の目的や県全体の傾向を把握する。「学力のレベル」や「学力の伸び」を用いた「分析ツール」活用して、各校が児童生徒一人一人を詳細に分析し、「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」によって児童生徒の資質・能力の育成を図る。相双教育アピールも是非活用してほしい。

【今後取り組みたいこと、研修を受けて感じたこと】～研修者より～

- ふくしま学力調査について、分析ツールを活用して「学力レベルと学力の伸び」を可視化させ、グラフを各学級担任に配付して授業改善に生かすことができるようにしたい。
- 「福島県版 ICT 活用ハンドブック 2022」の紹介の話を聞いて、ICT 活用のよさや活用ポイントを再確認できました。本校の校内研修で活用していきたいと思えます。
- 学力を向上させるには、非認知能力を育てることが大切であることを学びました。また、RS（リーディングスキル）や学級全員で友だちの考えを考えること、その道のプロと触れ合って肌で感じる学びなど、各校の実践発表から子どもたちの学びの心のスイッチを子ども自らで押す教師の仕掛けが必要だと感じました。

